

国営農地再編整備事業「水橋地区」における営農推進に向けた取組み

指導課、担い手支援課、農業普及課

■国営農地再編整備事業「水橋地区」

事業期間:令和3年度～令和15年度(13年間)(予定)

総事業費:260億円
(予定)

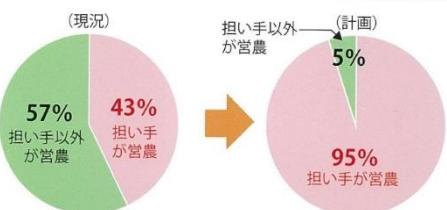
R 5まで:2,329百万円
R 6:1,580百万円(R5補正込)

関係市町	富山市、滑川市、上市町
受益面積	614 ha
主要工事	区画整理、農道、用排水路、暗渠排水



①農地の大区画化・汎用化等を行い、担い手への農地利用集積・集約を推進

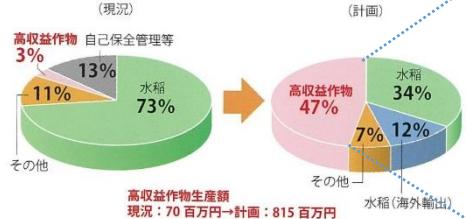
担い手への集積率の変化



9割以上の農地を集積・集約
大型機械・ICTの導入による省力化

②高収益作物の作付拡大による、生産性・収益性の向上

高収益作物への転換



高収益作物の内訳

作物名	面積 (ha)
有色米	93
アマランサス	22
さといも	5
キャベツ	25
ねぎ	7
たまねぎ	16
にんじん	123
いちご	1
ひまわり	1



排水改良による水田畑
利用により、高収益作物への転換を促進

③自動走行機械やICT水管理等のスマート農業の導入により更なる農作業の効率化

更なる農作業の効率化・省力化を可能とするために、担い手の意向を把握し、必要な基盤整備を検討・導入推進



自走式農機の導入

ICT自動給水栓等の設置

ラジコン草刈り機

ドローンによる防除

関係者会議(情報共有・意見交換)

国営水橋地区営農推進協議会

7月、2月

担い手、JA、北陸農政局、国事業所、市町、土改、県、県土連ほか

営農推進ワーキングチーム会議(上記幹事会)

5月、11月、1月

JA、国事業所、市町、土改、県、

地域営農体制確立チーム会議(国営・県営)

4月、10月、2月

センター内(農業普及課、担い手支援課、農村整備課、指導課)

取組事項①: 担い手への農地集積・集約

○地権者と担い手の話し合いの場として「地域営農

ワークショップ



⇒農地の維持管理や「高収益作物の導入」

について、課題に気付き、解決策を導く

○関係集落ごとの担い手に関する意向を調査

○水橋地区における営農推進に関する協議【富山市】(7/19、12/5)

○地域計画策定に向けた「地域の協議の場」の開催【富山市】(7/2、10/28)

取組事項②: 高収益作物の導入

○地下かんがいを利用した栽培実証【国事業所】

(R4～R6 3年間) R6:にんじん24a、さといも23a、
さつまいも57a、たまねぎ23a、緑肥57a

○「水橋園芸導入促進チーム」【県農産食品課】(会議:月1回)

モデル経営体の園芸作物栽培の伴走支援

R6:加工用トマト75a、加工用さつまいも75a、白ねぎ46a

○他の経営体への園芸作物導入推進のための研修会等の開催【県農産食品課】

取組事項③: スマート農業(ICT水管理等)

○「先端技術導入実証事業」の取組み【国事業所】

3次元データを活用した調査・設計・施工、スマート農機の活用等、営農及び維持管理までの一体的な整備を実証
(R5～R9 5年間) R6:3次元データを活用した設計の実施

○「スマート農業情報通信環境整備協議会」【富山市】(年3回)

国営地区以外の県営事業地区においてもスマート農業を推進するため、水管理システムに必要な無線基地局等を整備

R6:電波調査の実施及び整備計画の策定

基盤整備に併せて、営農推進協議会等によるハード・ソフト一体となった営農推進に取り組む